

平成26年11月27日

**「中山間地域・島しょ部と広島大学」をテーマに
地（知）の拠点フォーラムを開催します**

広島大学は、地（知）の拠点活動の中で「中山間地域・島しょ部と広島大学」をテーマに、「広島県の農水産業の将来を見据えた交流と連携」について議論するフォーラムを開催します。

このフォーラムは、地（知）の拠点の県下連携地域と広島大学の学生・教職員が、今年度実践した地域志向教育（体験授業等）の評価や新たなアイデア・知識・知恵を出し合い、この知の融合によって今後の中山間地域・島しょ部と広島大学地（知）の拠点の姿を共有することを目的にしています。

フォーラムの第1部は、学生と連携地域が、相互に忌憚のない意見や提言・苦言を交換し、今後の地域志向型教育のあり方を考えます。また、第2部は地域課題対応に秀でた県下9地域7市町と大学による交流と連携の成果をより深く討論し、広島大学が広島県の農水産業の将来を見据えた地域との交流・連携にどのように取り組めばよいか「円卓フォーラム」として議論します。

なお、フォーラムの中で広島大学と連携して地域志向教育研究に大きく貢献された9地域（13名）への感謝状の贈呈を行います。

1.開催日時：2014年12月11日（木） 12:50—16:30

2.開催場所：広島大学 学生会館2階 レセプション・ホール

3.プログラム

第1部 (1) 学生と地域とのエール交換

司会 加藤愛 (生物圏科学研究科博士課程前期2年)

(2) 連携9地域(7市町)への感謝状贈呈

第2部 (広島)地の拠点 円卓フォーラム

—受け入れ地域・自治体・大学による交流と連携の成果—

司会 細野賢治 (生物圏科学研究科准教授)

※広島大学は、地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（COC）」に取り組んでおり、広島県の重要な地域課題の一つである中山間地域・島しょ部対策を主要課題にしています。

【お問い合わせ先】

学術・社会産学連携室 社会連携グループ 山本一美

Tel: 082-424-4497 FAX: 082-424-6189

E-mail: syakai-gi@office.hiroshima-u.ac.jp

大学院生物圏科学研究科 地域連携室 コーディネータ 大泉賢吾

Tel: 082-424-7905 FAX: 082-424-6480

E-mail: sei-chiiki@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学地（知）の拠点フォーラム開催案内

中山間地域・島しょ部と広島大学

— 広島県の農水産業の将来を見据えた交流と連携 —

広島大学が取り組んでいる「地（知）の拠点整備事業（COC）」では、大学が自治体を中心に地域社会と連携して、地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めることを目的としています。広島大学は、地域の課題解決に資する人材を育成し、情報・技術が集まる地域社会の中核的役割を担うことを目指しています。

広島県の中山間地域や瀬戸内海島しょ部では、過疎化と高齢化が進み、活力低下という社会課題に直面していますが、各地域においては先進的な取り組みも進められています。

広島大学では、条件不利にもかかわらず、優れた活動を行っている地域住民、コミュニティ、地方自治体と強く連携し、学生に体験活動やフィールドワークを通して農山漁村の現場で起こる様々な問題を認識・学習してもらう取り組みを行っています。

このフォーラムでは、「中山間地域・島しょ部と広島大学」をテーマに、広島県の農水産業の将来を見据えた広島大学と市町・地域との交流と連携について、地域・学生・大学が討論し、ここで出された評価やアイデア・知識・知恵の融合によって、今後の地（知）の拠点や中山間地域・島しょ部の姿を、共有したいと考えております。

フォーラムの第1部は、「学生と地域とのエール交換」と題して、体験学習を行った学生と、受け入れていただいた地域の皆さまとの間で膝を突き合わせて、相互に意見や提言・苦言を交換し合います。また、今後の地域志向型教育のあり方について考えます。

第2部は「広島県の地（知）の拠点 円卓フォーラム」とし、受け入れ地域・自治体・大学による交流と連携の成果をより深く討論し、地の拠点に基づく教育の進め方、協同で取り組むべき地域農林水産業の課題、大学を媒介にした地域間連携と交流のシステムづくり、などを話しあう予定と見込んでいます。

皆様、是非このフォーラムにご参加いただき、広島大学が、広島県の農水産業の将来を見据えた地域との交流・連携にどのように取り組めばよいか、ご提言をいただければ幸いです。

開催日時：2014年12月11日（木） 12：50—16：30

開催場所：広島大学 学士会館レセプション・ホール

[12:50~13:00]

- 開会あいさつ 広島大学 植松生物生産学部長
広島大学 藤本副理事（社会連携担当）

[13:00~14:20]

○第1部：学生と地域とのエール交換

司会 加藤愛（博士課程前期2年）

- 1) 地域との連携を模索した体験学習：経過報告 (10分)
- 2) 学生代表教養ゼミグループの活動報告・意見・提言など (20分)
(体験学習発表会の学生相互評価が高かった3ゼミ)
- 3) 受け入れ地域のメッセージ・提言・苦言など (30分)
安芸太田町 いにびちゅ会・会長 河野司氏
大崎上島町 シトラスかみじま・組合長理事 金原邦也氏
世羅町 世羅幸水農園・組合長理事 原田修氏
- 4) 討議 (15分)

[14:15~14:20]

- 広島大学 地（知）の拠点連携地域への感謝状贈呈

[14:35~16:25]

○第2部：（広島）地の拠点 円卓フォーラム

受け入れ地域・自治体・大学による交流と連携の成果

司会 細野賢治（准教授）

- 1) 体験学習についての学生アンケート調査結果の紹介 (10分)
- 2) 受け入れ地域の声紹介 (10分)
- 3) コーディネーターの立場から (5分)
- 3) 討議
- 4) まとめ } (85分)

[16:25~16:30]

- 閉会の挨拶 生物生産学部教授 山尾政博

【問い合わせ先】

広島大学生物生産学部（生物圏科学研究科）地域連携室

TEL 082-424-7905 FAX 082-424-6480

mail chinokyo@hiroshima-u.ac.jp

HP : <http://hirodaicoc.hiroshima-u.ac.jp/chiikitaisaku/>

地(知)の拠点 26年度連携地域と教養ゼミ体験授業

安芸太田町井仁地域



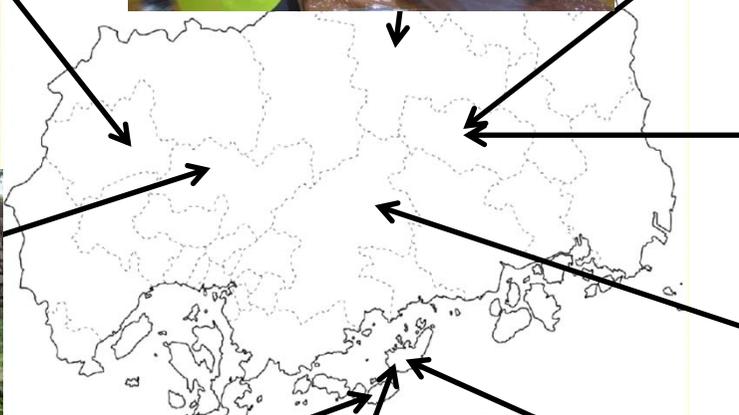
三次市 道の駅
ゆめランド布野



世羅町 世羅幸水農園



広島市
いいね太田川隊
太田川漁協



世羅町 世羅大豊農園



東広島市
ファーム・おだ



呉市 豊町大長



大崎上島町
大崎内浦漁協・海藻塾



大崎上島町
金原農園





広島大学「地(知)の拠点」フォーラム
中山間地域・島しょ部と広島大学
 - 広島県の農水産業の将来を見据えた交流と連携 -

日時: 12月11日(木) 12:50~16:30

場所: 広島大学東広島キャンパス 学生会館レセプション・ホール

プログラム

第1部: 学生と地域とのエール交換

司会 広島大学大学院生物圏科学研究科 加藤愛(博士課程前期2年)
 連携9地域(7市町)への感謝状贈呈

第2部: (広島)地の拠点 円卓フォーラム

— 受け入れ地域・自治体・大学による交流と連携の成果 —

司会 広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授 細野賢治

広島大学は、地(知)の拠点整備事業(COC)活動の中で「中山間地域・島しょ部と広島大学」をテーマに、「広島県の農水産業の将来を見据えた交流と連携」について議論するフォーラムを開催します。このフォーラムは、広島県の農水産業の将来を見据えた広島大学と市町・地域との交流と連携について、地域・学生・大学が討論し、ここで出された評価やアイデア・知識・知恵の融合によって、今後の地(知)の拠点や中山間地域・島しょ部の姿を、共有したいと考えております。

フォーラムの第1部は、「学生と地域とのエール交換」と題して、学生と連携地域との間で膝を突き合わせて、相互に意見や提言・苦言を交換し合います。また、今後の地域志向型教育のあり方について考えます。第2部は「広島県の地(知)の拠点 円卓フォーラム」とし、受け入れ地域・自治体・大学による交流と連携の成果をより深く討論し、地の拠点に基づく教育の進め方、協同で取り組むべき地域農林水産業の課題、大学を媒介にした地域間連携と交流のシステムづくり、などを話しあっていたたく予定です。

参加申込書送り先

広島大学生物生産学部 地域連携室
 〒739-8528 広島県東広島市鏡山1-4-4

mail: chinokyo@hiroshima-u.ac.jp
 TEL: 082-424-7905 / 082-424-6792
 FAX: 082-424-6480, 082-424-2459

中山間地域・島しょ部と広島大学 参加申込書

お名前	ご住所	所属	連絡先電話番号